



## 「 給食の楽しみ 」

副校長 森 飛鳥



市沢小学校の給食室は職員室の前にあります。中休みには、給食の匂いに誘われて子どもたちがやってきて、メニューのホワイトボードを確認していきます。日々の給食のメニューを気にしている子どもたちはたくさん。子どもたちにとって今日の給食が「好きなメニュー」なのか「苦手なメニュー」なのかは大きな問題のようです。

先日のメニューは、年に1度の「横浜 DeNA ベイスターズ 青星寮カレー」でした。横浜ベイスターズの寮で選手が実際に食べているカレーを給食用にアレンジした特別メニューで、たくさんの玉ねぎを時間をかけてじっくり炒めるのが美味しさの秘密です。朝から、ベイスターズのユニホームを着てくる子どももいて、期待の大きさが伝わってきました。給食室もベイスターズの選手の顔写真 T シャツや応援タオルを飾り、給食当番の子どもたちを迎えます。「今日は、ベイスターズカレーだ」と元気にやってきた子どもたち。「大谷翔平だ！」と勘違いする低学年の子どもたちには、笑ってしまいました。給食時間中にはベイスターズの選手動画が流れ、カレーの中には星形のにんじんも入っていて、ワクワクしながら楽しんで食べていました。

給食メニューは、今回の「横浜に関係する食べ物」だけでなく、子どもたちに「旬」や「日本の行事に関する食べ物」「様々な地域や世界の食べ物」等を知ってもらえるように考えられています

私は、給食の下膳時に給食室に立ち、給食委員会の子どもたちと一緒に下膳の手伝いをしています。「おいしかったよ」「全部食べたよ」「〇〇はおかわりしたよ」と笑顔で声をかけてくるときもあれば、「残しちゃったよ」とすまなそうに食管を返してくるときもあります。学校では、各々が食べられる量をバランスよく食べられるように指導しています。1年生にとっては、初めて食べるメニューもたくさんあることでしょう。それでも、「一口食べてみよう」とチャレンジする姿にたくましさを感じます。食べることは、自分の体を作ること、生きることです。子どもたちには、「命をいただき、自分の命を養っていること」「食事には、多くの人々が関わっていること」「マナーを守って食べることで、一緒に食べる相手が気持ちよく過ごすことができること」等を日々の給食から学んで欲しいと願っています。

## 「 読書って楽しい！ 」

今年度から、高学年児童も読書ボランティアの方に朝の読み聞かせをしていただくことになりました。本の世界に引き込まれ、真剣に話を聞く子どもたち。本を読んでもらうことは、低学年でも高学年でも大好きなのだなあと再認識しました。

また、先日保護者の方に児童書を寄付していただきました。子どもたちは、大喜び。特に大型絵本が大人気です。ありがとうございました。

